

<b>クラス NO</b>	508	<b>担当教員</b>	西村 一彦
<b>テーマ</b>	ため池の総合的研究		
<b>著書・論文</b>	著書・論文 研究課題等: [論文] 西村一彦 (2007) 「市民参加型会議におけるシナリオを用いた環境政策評価の頑健性に関する検討」 環境科学、20-3 号 [近刊]		
<b>研究課題等</b>			

### ゼミ概要

#### 1. 目的

知多半島に多数存在する「ため池」の価値を評価する。それによって、知多半島地域の環境保全や開発のあり方に関する示唆を与える。\*\*\*\*\*

#### 2. 方法

- (1) 知多半島のため池の価値に関する情報を、自分の手足を使って集めてくる。
- (2) 集めてきたデータに基づいて、科学的に「ため池」にせまる。

価値を評価するには、どのようなため池がどれくらいあるかを知らなくてはなりません。因みに、知多半島には大小合わせて数千カ所あるといわれています。ため池といってもさまざまで、生物が多様な場所もあれば、護岸で覆われた場所もあります。季節によって状況も変わります。水質も重要な要素でしょう。ブラックバスがよく釣れて、それがため池の価値を高めているかも知れないし、その逆かも知れません。あるいは住民の憩いの場になっているかもしれません。このように考えていくと、ため池の調査・研究はいくら人手があっても足りません。

#### 3. その他

具体的には、長靴を履いてバケツを持って地図を片手にため池に行き水質を調べたり写真を撮ったりする。また、ため池の価値を測るために住民アンケートを実施したりする。「手強い」ため池も多数存在する。途中経過は随時、皆の前でプレゼンする。

#### 4. 履修上の注意点

ゼミ活動よりアルバイトやサークル活動を優先する人は、まったく歓迎しない。ゼミ懇などの企画に必ず参加できる人、皆で仲良くワイワイやれる人、注意深い人、決めたことをやり抜くことができる人は是非来てほしい。

### 担当教員からのメッセージ

応募前に必ず一人で相談に来ること。事前に会っていない人は採用しない。